

歌舞伎

三鷹

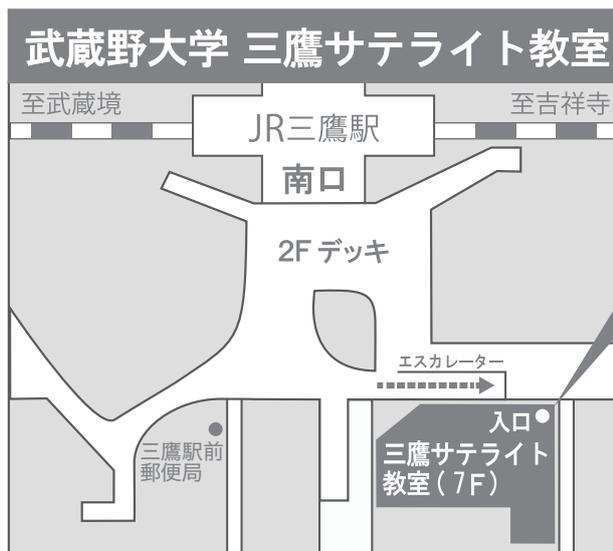
0401007

歌舞伎の見方・味わい方

— 入門編2 —

受講料 (振込額)	4,000円			
必携テキスト	——			
講座概要	曜日	火曜日		日程 5月10・17日
	時間	13:00～14:30		
	回数	全2回	定員 20名	
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室		
講師	本学客員教授・元本学能楽資料センター長 羽田 昶 (はた ひさし)			
	1939年(昭和14)東京生。國學院大學文学部卒。海城高等学校・開成高等学校教諭、東京国立文化財研究所芸能部研究員、室長を経て、2000-2010年(平成12-22)武蔵野女子大学(武蔵野大学)教授。その間、2002年(平成14)より同大学能楽資料センター長。現在、武蔵野大学客員教授、同大学能楽資料センター研究員。専攻は能・狂言を中心とする演劇研究。観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。 著書(共著)に『狂言・鑑賞のために』(1974、保育社)、『能・本説と展開』(1977、桜楓社)、『能の作者と作品』(1987、岩波書店)、『能の囃子事』(1990、音楽之友社)、『能楽大事典』(2012、筑摩書房)、『昭和の能楽 名人列伝』(2017、淡交社)ほか。			
内容	歌舞伎は、江戸時代の初期、ちょうどイタリアでオペラが生まれたところに創始され、現代も人気を誇っている演劇です。楽しいエンターテインメントであるとともに、400年の歴史にはぐくまれた、高度な技術と美しい様式に支えられた伝統演劇です。したがって、その技術や様式がどのようにして生まれてきたのか、どのような特徴をもっているのかを知っておくと、より豊かな鑑賞ができると思います。			
	入門編2として、今回は、せりふ術・音楽・舞踊など演技・演出の具体的な表現法、また立役と女方、二枚目と敵役など歌舞伎独自のさまざまな役柄について、そして、それを伝承している俳優の家系、芸系について、視聴覚資料を用いながら、お話しします。			
	① 5月10日：歌舞伎の演技・演出—せりふ術・音楽・舞踊の技法 ② 5月17日：歌舞伎の俳優—役柄・家系・芸系			

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。